

## 茨城大学人文社会科学部設置及び人文学部創立50周年記念式典を挙

茨城大学人文社会科学部では、去る7月8日（土）に水戸市の三の丸ホテルにおいて、茨城大学文理・人文学部同窓会との共催により「茨城大学人文社会科学部設置及び人文学部創立50周年記念式典」を挙

当日は、来賓として茨城県、茨城県教育委員会、本学部と連携協定を締結している茨城県内自治体のうち、水戸市、石岡市、高萩市、鹿嶋市、常陸大宮市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村にご臨席を賜った。さらに、茨城県知事、常陸太田市長からの祝電を披露させていただいた。また、茨城大学名誉教授、文理・人文学部同窓会理事にも多数出席いただき盛大な式典となった。大学側からは、学長、理事及び監事並びに人文社会科学部後援会正副会長が出席した。

式典の冒頭に、三村学長、佐川学部長及び土田同窓会会長から挨拶を行い、引き続き来賓を代表して、茨城県知事（代読）、小野寺茨城県教育長、水戸市長（代読）から祝辞を頂戴した。

その後、人文学部卒業生・元東宝(株)取締役兼TOHOシネマズ(株)代表取締役社長の村上主税氏より「スクリーンに魅せられて」と題する記念講演が行われた。

村上氏は、昭和47年3月に当時の人文学部経済学科を卒業され、同年4月に映画関連会社の大手である東宝株式会社に入社、平成18年10月～平成22年5月には、東宝株式会社取締役兼TOHOシネマズ株式会社代表取締役をお努めになるなど経営者として辣腕を振るわれる一方、映画文化の振興にも努め、映画制作の裏話などをご披露いただき、出席者全員が興味津々の趣であった。人文社会科学部の前身である人文学部OBが各界で活躍されていることの誇らしさを新学部においても引き継いで、学生に伝えていきたいという思いを一同が共有しつつ、式典は和やかな雰囲気で行った。

式典終了後の祝賀パーティーでは、来賓の今泉石岡市長による祝辞、野口同窓会顧問による乾杯の後、歓談に移った。祝賀パーティーは、終始和やかな雰囲気の中懐かしい昔話や、新しい学部の話が飛び交い、まさに、50年の歴史と未来である新しい人文社会科学部との融合のような場面となり、式典並びに祝賀パーティーは盛会裏に終了した。

(2017.7.18)



茨城大学人文社会科学部設置及び人文学部創立50周年記念式典



式典の挨拶を行う三村信男学長